

# 「言語と情報研究プロジェクト」 第47回公開セミナー

**2013年12月13日(金) 16:15～18:15**  
**広島大学総合科学研究科 会場: J205**

**演者: 大名 力 氏** (名古屋大学)

**演題: 「心的文法研究とコーパス: 生成文法とコーパスの  
利用は矛盾するか？」**

言語研究資料としてのコーパスの利用に関連し、生成文法については、「生成文法とコーパスの利用は相容れない」、「生成文法は言語能力を、コーパス言語学は言語運用を研究対象とする」、「生成文法は合理論で演繹法、コーパス言語学は経験論で帰納法」、「生成文法と社会言語学は対立する」など、根拠がなかったり誤解を招きやすい言説が流布しているが、このセミナーでは、用語の内容を明示化しながら、これらの言説の妥当性について検討する。また、コーパスデータを含め、心的実在物としての文法を研究する立場と様々なデータの関係について整理して示す。

※ (他)学部生、(他)大学院生、教員、どなたでも参加自由です (申し込み不要)

**広島大学大学院総合科学研究科 21世紀プロジェクト・「言語と情報研究」プロジェクト**

(連絡先: 安仁屋宗正 [aniya@hiroshima-u.ac.jp](mailto:aniya@hiroshima-u.ac.jp))